

一 次のようにしてできた漢字を、
書きましよう。
から二つずつ選んで
(10点×6問)

(1) 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。〈例〉馬

(2) 目に見えない事がらを、印や記号を使って表わしたもの。
〈例〉上

(3) 漢字の意味を組み合わせたもの。〈例〉鳴

明 川 下 中 雨 休

二 次の漢字の音を表す部分を□に書きましよう。(10点×4問)

〈やり方〉粉… 分

(1) 格…

(2) 銅…

(3) 持…

(4) 清…



漢字の成り立ちには、
音を表す部分と、意味を
表す部分を組み合わせ
たものがあるよ。

点

一次の漢字の成り立ちを下から選んで、記号を書きましよう。
 (10点×5問)

- (1) 羊 () ()
 (2) 館 () ()
 (3) 三 () ()
 (4) 門 () ()
 (5) 森 () ()

ア 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。
 〈例〉山・火

イ 目に見えない事がらを、印や記号を使って表したもの。
 〈例〉上・下

ウ 漢字の意味を組み合わせたもの。
 〈例〉鳴・明

エ 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。
 〈例〉草・粉

点

二 □に当てはまる漢字を書きましよう。また、――の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた漢字です。それぞれの部分を書きましよう。
 (10点×5問)

(1)

 じ かん
 を守って行動する。
 音を表す部分
 意味を表す部分
 (完答10点)

(2) この荷物は

--

 かる
 い。
 音を表す部分
 意味を表す部分
 (完答10点)

チャレンジ!
 同じ音を表す部分が使われている他の漢字を考えて書いてみよう。

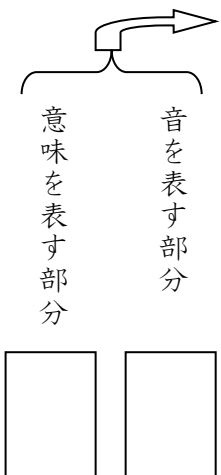


チャレンジ!
 同じ意味を表す部分が使われている他の漢字を考えて書いてみよう。

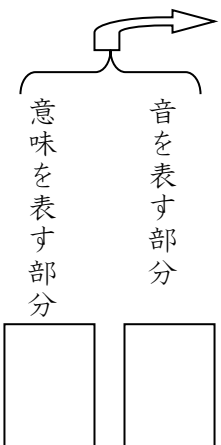
(完答10点)

一 次のの——の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた漢字です。それぞれの部分を書きましょう。

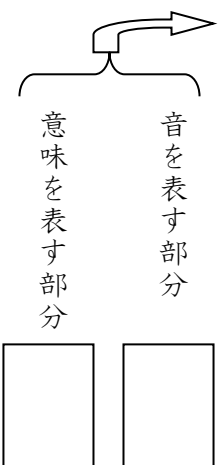
(1) 編集会議を開く。



(2) 黒板に絵をかく。



(3) 週刊誌を買って読む。



二 次の——の漢字の成り立ちを、漢字辞典を使って調べましょう。

(1) 子牛

(2) 週末

(3) 休日

(4) 晴天

一次の文について、正しい敬語を () から選び、
○をつけましょう。(10点×5問)

(1) 先生が、教室に

いらっしゃいました
来ました

点

(2) わたしの母の質問に、校長先生が

お答えになりました
申されました

(3) 社長がディナーを

食べる
めしあがる

(4) となりの家の木村さんから、おみやげを

もらった
いただいた

(5) 明日、お宅に

うかがいます
行きます

二 | の言葉を敬語に書き直しましょう。(10点×5問)

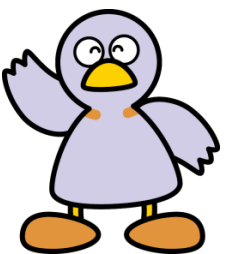
(1) 先生の子どものころの夢を聞きました。

(2) ゲストティーチャーの言うことを正確にメモする。

(3) 先生は、もう帰りました。

(4) わたしが荷物を持ちます。

(5) 校長先生が、賞状をくれる。



相手や話題にな
っている人をうや
まう気持ちを表す
ときは、
「尊敬語」
自分や身内の者
の動作をけんそん
して言うことで、
その動作を受ける
人への敬意を表す
ときは、
「けんじょう語」
を使うよ。

一 | | の言葉を敬語に直し、| | に文を書き直しましょう。
(15点×5問)

(1) 少し、待ってて。

(2) 先生が、映画を見る。

(3) 校長先生が話す。

(4) 私の考えを言います。

(5) お客様を見送る。

ヒントの言葉！
(特別な言葉を使った言い方)
「じぶんになる。」
「申し上げます。」



二 職員室にいらっしゃる先生に、プリントを提出しに来たことを、
実際に話すように書いてみましょう。(25点)

失礼します。

点

一次の文で、敬語が使われているところに線を引きましょう。(10点×4問)

(1) コンサートには、もう行かれましたか。

(2) 明後日、ご自宅にうかがいます。

(3) この機械の操作は、私がお説明します。

(4) どうぞ、たくさん めし上がってください。



ふだんの生活の中でも敬語を使えるようにしよう。

点

二次のそれぞれの表現は、どのように言いかえるとよいか考え、書きかえましょう。(15点×4問)

(1) 家に来客があったとき

「お父さんは、今出かけて。山本さんが来たって、言っておきます。」

(2) 電話をかけたとき

「もしもし。山口だけど、たかし君は。」

「はい。：だれですか。：お母さんは、今、いません。帰ってきたら、田中さんに電話するように言います。」

(3) 全校児童に、委員会の報告をするとき

「生活委員会で決まったんだけど、今月の目標は『くつそろえをする』だよ。」

一次の文中の——の漢字の読みを書きましょう。

(10点×8問)

(1) 人間にとつて、時間|は大切な財産である。

(2) 祖父が学んだ読|本を借り、音|読|してみた。

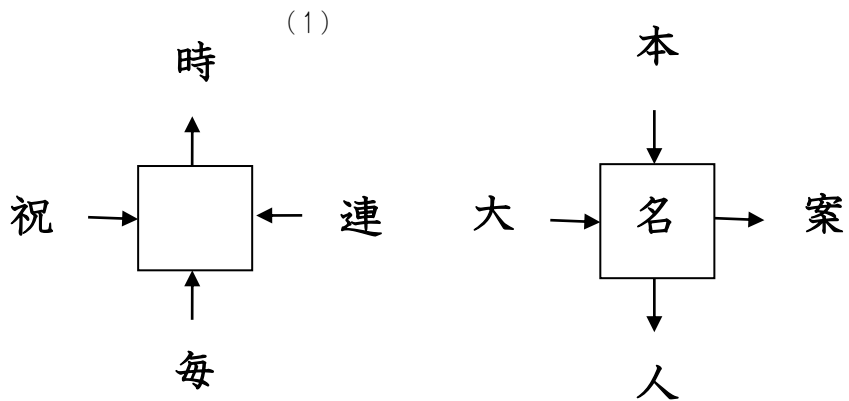
(3) 直接|会って、正直|に話し、謝罪する。

(4) 姉はアメリカに留|学中で、しばらく留|守だ。

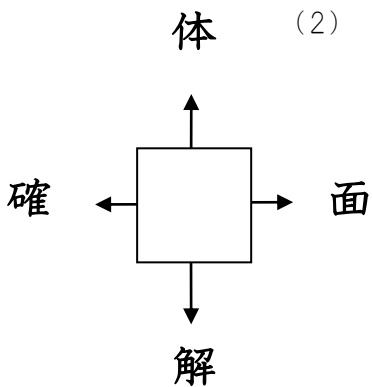
点

二 例にならつて、□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ四つの熟語を(10点×2問)作りましょう。

〈例〉

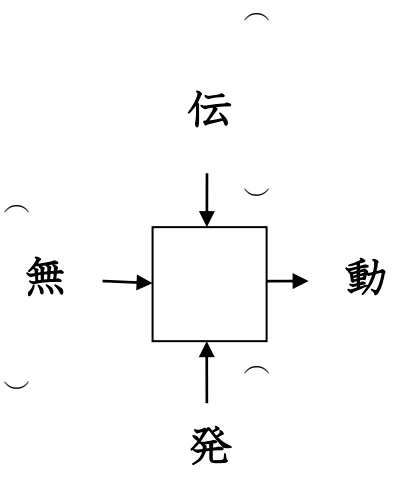


漢字には、複数の音をもつものがあるよ。
漢字辞典も使って調べよう。

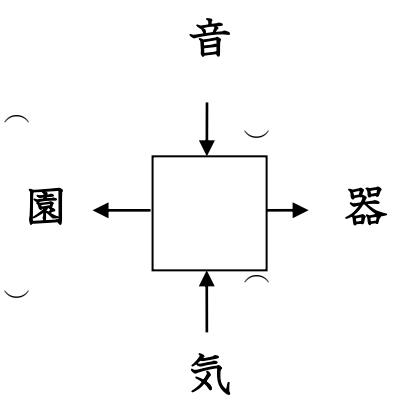


一 真ん中の□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ、四つの熟語を作りましょう。また、できた熟語の読み方を()の中に書きましょう。(4点×25問)

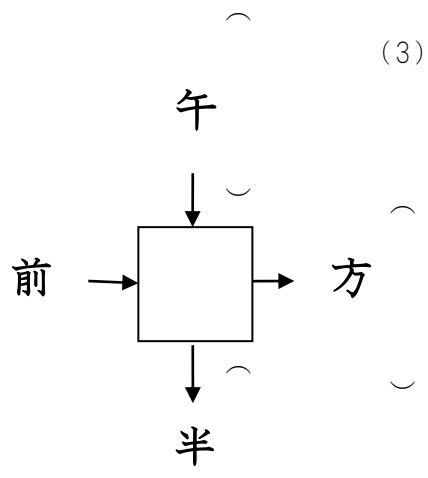
(1)



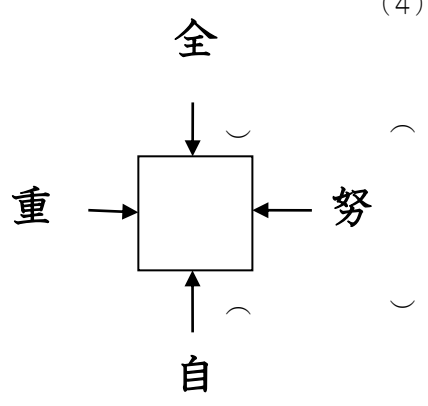
(2)



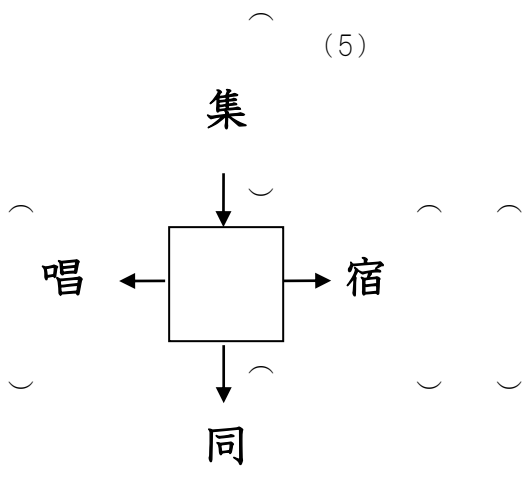
(3)



(4)



(5)



点

熟語は、矢印の方向に読むよ。
わかるかな？



一 複数の音をもつ漢字を使った問題を作ってみましょう。

(1)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(2)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

〈問題の作り方〉

- ① 答えになる漢字を決める。
 - ② 答えになる漢字を使った熟語を二つから四つ考える。
 - ③ まわりの口に漢字を書く。
 - ④ 読む方向に矢印を書く。
- できたら、友達やお家の人に解いてもらおう。



ヒントー！
漢字辞典で音が複数ある漢字を見つけてみて。
こんな漢字を使ってみてはどうか。
「下(ゲ、カ)」「競(キョウ、ケイ)」「生(セイ、ショウ)」「便(ビン、ベン)」

二 次の特別な読み方をする言葉の読み方を()に書きましょう。
また、その言葉の中から三つ選んで、文作りをしてみましょう。

()	・今日	()	()	・時計	()
()	・上手	()	()	・明日	()
()	・二十日	()	()	・大人	()
()	・今朝	()	()	・博士	()
()	・今年	()	()	・昨日	()
()	・真面目	()	()	・眼鏡	()

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

俳句は、五・七・五の十七音で感動を伝えます。生活の中で気づいたことやおどろいたことを、俳句にして伝えてみましょう。

☆ 次の俳句を声に出して読んでみましょう。

名月や池をめぐりて夜もすがら

まつおはしろう
(松尾芭蕉)

ひつぱれる糸まつすぐや甲虫

たかのすじゅう
(高野素十)

一 生活の中で気づいたことやおどろいたことを、短い文章で書きとめましょう。

二 文章に書いたことを、五・七・五の十七音で俳句にしましょう。

三 俳句では、「季語」という季節を表す言葉を使います。
 (例)以外の「季語」を集めてみましょう。

冬	秋	夏	春
さざんか 雪 大根 手ぶくろ 北風	コスモス さんま こおろぎ 台風 冬じたく	泳ぎ かぶと虫 トマト タ立 あせ	あたたか かえる 桜 入学 ひばり

小さな「つ」
 やのばす
 音、「ん」も
 一音と数え
 るよ。



☆ 俳句の表現を工夫しよう。

空き地にはひまわりさいてきれいだな

「ひまわりさいてきれいだな」のところをたとえばを使って
言いかえてみましょう。

空き地にはひまわりたちが



俳句では、「わらう」「のびる」想像できる言葉や、「きれいだな」のよみなよみ手の気持ちや直接言い表す言葉は、できるだけ使わずに表現するといふよ。
この句は、ひまわりを人のようにたとえてみよう。

へ表現の工夫のポイント

- ① 言葉を選ぶ。(たとえ、色、音など五感を使って)
- ② 言葉の順序を工夫する。(順序を入れかえてみると印象がちがいます。)
- ③ どの文字で書き表すかを考える。(ひらがな、カタカナ、漢字)
- ④ 「は」「が」「も」「を」「へ」「に」などの使い方を考える。
(一文字ちがいで思い浮かぶ様子が変わります。)

☆ 俳句①(前のプリント)で作った自分の俳句の表現を工夫してみよう。

作った俳句は友達と読み合おう。感想も伝えるといいね。



一 「飛び上がる」のような、「飛び——」という言葉を集め、意味を調べましょう。また、その言葉を使って短い文を作りましょう。
(10点×4問)

(1) () 飛び

文 () 意味

--	--

(2) () 飛び

文 () 意味

--	--

(3) () 飛び

文 () 意味

--	--

(4) () 飛び

文 () 意味

--	--

二 次の言葉は、結び付くとどんな複合語になるでしょう。
(10点×6問)

(1) 昼 + 休み ↓

--

(2) 消費 + 税 ↓

--

(3) ビデオ + カメラ ↓

--

(4) 年賀 + はがき ↓

--

(5) 紙 + コップ ↓

--

(6) 電子 + メール ↓

--



「飛び——」
という言葉は、
まだまだたく
さんあるよ。
辞書で調べて
みよう。

点

一 グループに入るか考え、() () に書きましよう。(5点×12問)

- オレンジ色 フックトーク ピアノ教室
- 放送室 あめ玉 花火大会 山登り
- スーパーコンピュータ 再建計画 音読カード
- 歯ブラシ 時間切れ

点

- (1) 和語と和語の組み合わせ () () ()
- (2) 漢語と漢語との組み合わせ () () ()
- (3) 外来語と外来語との組み合わせ () () ()
- (4) 和語と漢語との組み合わせ () () ()
- (5) 和語と外来語との組み合わせ () () ()
- (6) 漢語と外来語との組み合わせ () () ()

二 「手」がつく複合語を集めましよう。
(1~5個10点、6~10個20点、11個以上40点)

〈例〉手ぶくろ

「手」を辞典で引いて
みるとたくさんの言
葉が見つかるよ。



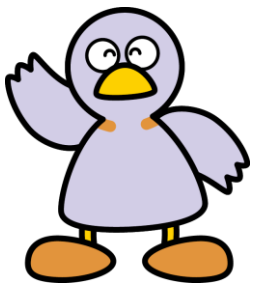
一 次の複合語を声に出して読み、読み方を()に書き
 ましょう。また、その中で元の言葉と発音が変わるものには、
 □に○印を付けましょう。
 (読み4点×12問 ○4点×8問)

点

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| (10) 筆箱 □ | (7) 白ばら □ | (4) 春雨 □ | (1) 風向き □ |
| (11) 西日 □ | (8) 白波 □ | (5) 雨上がり □ | (2) 風下 □ |
| (12) 昔話 □ | (9) 野原 □ | (6) 雨水 □ | (3) 朝日 □ |

二 次の複合語を□に漢字で書きましょう。また、読み方を()
 に書きましょう。(5点×4問)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|------------------|
| (4) あめ + おと ↓ □ | (3) ふね + たび ↓ □ | (2) ほとけ + ところ ↓ □ | (1) こめ + たわら ↓ □ |
|-----------------|-----------------|-------------------|------------------|



身の回りには複合語がた
 くさんあるよ。
 教科書や新聞などの中か
 ら複合語をさがしてみて、
 辞書で意味を調べてみよ
 う。

一次の言葉を和語・漢語・外来語に分けてみましょう。(5点×12問)

ふるさと	科学	ラッシュ	人
相当	予想	スピード	過ごす
多い	スイミング	帰省	スプーン

点

- 和語 () () () () () ()
- 漢語 () () () () () ()
- 外来語 () () () () () ()

二次の言葉と同じ意味の和語や漢語、外来語を□から選んで書きましょう。

(5点×8問)

- (1) ラッシュ () (2) ホテル () ()
- (3) 食堂 () (4) スイミング () ()
- (5) 調査 () (6) 決定 () ()
- (7) 速度 () (8) さじ () ()

スピード	調べる	スプーン	混雑
レストラン	水泳	決める	旅館



一次の文中の——の言葉の漢語と和語の読み方を書きま
しょう。(10点×10問)

点

(1) 水辺の生物の観察をする。
生物は、いたみやすいので早く食べてください。

(2) 風車小屋のまわりに、花がきれいにさいている。
弟が風車を持って、楽しそうに遊んでいる。

(3) 色紙に、野球選手のサインを書いてもらった。
色紙で、つるを折った。

(4) 先生は、書道の大家だ。
アパートの大家に、家賃をはらう。

(5) 長い年月がたった。
年月を重ねる。

二身の回りの文章から、和語・漢語・外来語をさがしてみよう。

和語

Blank box for writing Japanese words.

漢語

Blank box for writing Chinese words.

外来語

Blank box for writing foreign words.



同じ漢字でも、漢語と和語で意味がちがう言葉もあるよ。辞書で調べてみよう。

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、()から選びましょう。

(10点×10問)

一 (刊・肝・干・幹・汗)

① 毎週水曜日に発売される週誌。

② この海は、満の差が大きい。

③ 新線で大阪まで行く。

④ 臓の検査入院をする。

⑤ 運動による発汗で、水分が失われる。

二 (故・古・湖・個・固)

① 五年ぶりに郷に帰る。

② 体が液体になる。

③ びわは日本一大きい。

④ 人より、団体競技の方がいい。

⑤ 代エジプトの歴史。

どの部分が共通でどんな読み方をしてい
るかな。



()年()組()番 名前()

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、()から選びましょう。

(10点×10問)

一(検・験・険・剣)

① 刀

□

をとぐ。

② 身の危

□

を感じて、避難した。

③ 車を点

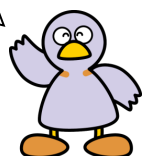
□

する。

④ スイミングスクールに、体

□

入学する。



「剣」は習っ

てーよー葉

□

占

二(司・飼・詞)

① 学級歌をクラスみんなで作

□

する。

②

□

育係が、うさぎにえさをやる。

③ テレビ番組の

□

会者。



三(館・官・管)

①

□

庁がたちならぶ町。

② 図書

□

で、本を借りる。

③ 血

□

がすけて見える。

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、()から選びましょう。

(10点×10問)

一(生・星・姓・性)

① □ 活科の学習で、町たんけんをする。

□

② 理科で □ 座の学習をした。

③ 男か女か、 □ 別にまるをつけた。

④ 占いで □ 名判断をしてもらった。

二(士・志・誌・仕)

① 父は毎日、 □ 事で帰りが遅い。

② カ □ たちのけいこを見学した。

③ □ 望する学校に合格した。

④ 雑 □

の発売が待ち遠しい。

三(群・郡)

① □ 部から都市部に引っ越す人が増えている。

共通するのは「君」
 だけど、読み方は
 「くん」ではない
 ね。

② しし座流星 □ を観察する。



共通する部分は
 どこで、何て読む
 かな。

()年()組()番 名前()

☆次の部分が表す意味を漢字辞典で調べ、□にあてはまる漢字を書きましよう。

(10点×10問)

【例】イ(にんべん)

人間、人間のおこないや、動作に関する字に用いられる。

体

育の学習で、気分が悪くなったので、少し

休

んだ。

一言(いう・ごんべん)

① 学級会の

長を務める。

②

会の学習をした。

③ 日

の宿題を忘れてしまった。

二 雨(あめ・あめかんむり)

例にならって
やってみよ
う。



① 大

が降ったので、車のタイヤを冬用にかえた。

②

ひとつない、晴れた日。



③ 修学旅行の二日目は、

となり、かさを使用した。

④ 遠くの方で

が鳴っているので、早めに帰ろう。

() () 年 () () 組 () () 番 名前 ()

☆次の部分が表す意味を漢字辞典で調べ、□にあてはまる漢字を書きましよう。

(10点×10問)

【例】日(ひ・にちへん)

意味 「日(ひ)」をもとにして作られ、天体や気象、時間や明るさにかかわる字。

早

く起きたが、まだ

暗

いので、もう少し寝ることにした。

※日の漢字を使って短文を作り、使った漢字に線を引きましょう。

- ・今日は、火曜日だ。
- ・冬になると、日ひが短くなり、暗くくなるのが早はやくなる。

一心・り () () ころ () () りっしんべん () () (完答)

意味

①

れ物をしたので、

いで家にもどった。

②強い

いがあれば、相手に

ず伝わる。

③登山家が消

をたったという

報が入った。

④

のこもった

援えんをする。

この中から選んで書こう。



必	息	悪
急	愛	快
心	応	忘

※心・巾の漢字を使って、短文を作り、使った漢字に線を引きましょう。(配点なし)

☆次の部分をもつ漢字を集め、部分が表す意味を漢字辞典で調べましょう。

【例】土(つちへん)

つちへんの漢字 場 地 坂 城

部分の意味

大地の意味を表す「土(つち)」をもとに作られ、土地や地形にかかわる字。

一 木(きへん)

きへんの漢字

部分の意味

二 車(くるまへん)

くるまへんの漢字

部分の意味

三 糸(いとへん)

いとへんの漢字

部分の意味

一 各文の漢字の間違いを見つけ、正しく直しましょう。(両方できて10点×10問)

(誤) (正)

① 試合は以外な結果に終わった。

② 異句同音に唱える。

③ 引卒の先生の指示に従う。

④ 政治に感心を持つ。

⑤ 身の危険を感じて避難した。

⑥ 国語の成績がとてもよかった。

⑦ 近所で映画の撮映があった。

⑧ 作業の後仕末をきちんとしましょう。

⑨ 二学期は心気一転がんばろう。

⑩ 科学の専門家になる。

↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

--

一 各文の漢字の間違いを見つけ、正しく直しましょう。(両方できて10点×10問)

(誤) (正)

⑪ すみずみまで掃事をする。

⑫ 強風がおさまるまで家で待期する。

⑬ ぼくと弟は対象的な性格だ。

⑭ 短刀直入に話を切り出す。

⑮ 避難民の受け入れ体勢を整える。

⑯ わたしの得技は、一輪車に乗る事です。

⑰ 模形の飛行機を作る。

⑱ 明日は家庭訪問で先生がいらっしゃる。

⑲ 簡単な問題を解く。

⑳ 礼義正しく近所の人に接する。

↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

--

一 線の部分を漢字で表したときに、当てはまる漢字にまるをつけましょう。
(5点×20問)



- ① 郵便をおくる。 (送る・贈る)
- ② 弓で矢をいる。 (射る・入る・要る)
- ③ あたたかな日。 (温か・暖か)
- ④ 計算があう。 (会う・合う)
- ⑤ 年があげる。 (明ける・開ける)
- ⑥ カメラでうつす。 (移す・写す・映す)
- ⑦ 税金をおさめる。 (収める・納める・修める)
- ⑧ 授業におくれる。 (遅れる・後れる)
- ⑨ あつい本。 (厚い・熱い・暑い)
- ⑩ クラス委員におす。 (押す・推す)
- ⑪ しょう数の学習。 (少・小)
- ⑫ 新しい家がたつ。 (建つ・立つ)
- ⑬ 小鳥がなく。 (泣く・鳴く)
- ⑭ 選手い外は休み。 (以・意)
- ⑮ 目がさめる。 (覚める・冷める)
- ⑯ 身長をはかる。 (計る・測る・図る・量る)
- ⑰ 司会をつとめる。 (努める・勤める・務める)
- ⑱ 間違いをなおす。 (治す・直す)
- ⑲ 朝はやく起きる。 (速く・早く)
- ⑳ 気がかわる。 (変わる・代わる)

一 「不」「未」「無」「非」のいずれかを使って、下の語を打ち消す漢字三字の熟語を完成させましょう。

(10点×10問)

① 欠席のため、皆勤賞となった。

② 私は指先が 器用です。

③ このくらいの練習では、まだまだ 十分だ。

④ このあたりの土地は、 開発である。

⑤ 宿泊先では、 常口を確認しましょう。

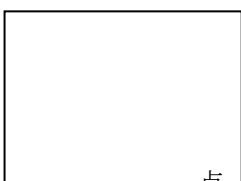
⑥ 入試で 合格にならないように、熱心に勉強する。

⑦ 気味なくらい静まり返っている。

⑧ その話については、 決定です。

⑨ 世の中には 思議な現象がたくさんある。

⑩ お金を落として 一文になってしまった。



二字の漢字からできている熟語の成り立ちには、次のようなものがあります。

- ア 似た意味の漢字の組み合わせ (岩石・河川)
- イ 意味が対になる漢字の組み合わせ (上下・左右)
- ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ (鉄橋・親友)
- エ 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ (預金・投球)

一 次の熟語の読みを横の「 」に書き、下の()の中に、アからエのどの組み合わせにあてはまるか書きましょう。(5点×20問)

【例】 「はくし」

白紙(ウ)

①	「	激	突	「	()
③	「	机	上	「	()
⑤	「	競	争	「	()
⑦	「	寄	港	「	()
⑨	「	苦	楽	「	()
⑪	「	直	線	「	()
⑬	「	初	夢	「	()
⑮	「	暗	黒	「	()
⑰	「	駅	前	「	()
⑱	「	優	秀	「	()
②	「	防	風	「	()
④	「	寒	暖	「	()
⑥	「	白	黒	「	()
⑧	「	遅	延	「	()
⑩	「	帰	郷	「	()
⑫	「	応	答	「	()
⑭	「	出	場	「	()
⑯	「	拵	大	「	()
⑱	「	明	暗	「	()
⑳	「	激	痛	「	()



点

二字の漢字からできてきている熟語の成り立ちには、次のようなものがあります。

- ア 似た意味の漢字の組み合わせ (岩石・河川)
- イ 意味が対になる漢字の組み合わせ (上下・左右)
- ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ (鉄橋・親友)
- エ 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ (預金・投球)

一 次の熟語の読みを横の「 」に書き、下の()の中に、アからエのどの組み合わせにあてはまるか書きましょう。(5点×20問)

【例】 「とざん」

登山 (エ)

①	早	速	()	②	回	転	()
③	巨	木	()	④	着	陸	()
⑤	有	無	()	⑥	預	金	()
⑦	温	水	()	⑧	多	大	()
⑨	力	作	()	⑩	最	古	()
⑪	開	閉	()	⑫	高	低	()
⑬	美	点	()	⑭	干	満	()
⑮	観	劇	()	⑯	握	力	()
⑰	昼	夜	()	⑱	就	職	()
⑲	短	針	()	⑳	沿	道	()



点

() () 年 () () 組 () () 番 名前 ()

一 □にあてはまる漢字を□の中から選び、似た意味の漢字の組み合わせの熟語を完成させましょう。
(5点×10問)

⑨	⑦	④	②
□	通	□	学
服	□	体	□

⑩	⑧	⑤	②
□	会	生	□
冷	□	□	助

救	寒	習	衣
行	産	育	合
洋	係	身	着

⑥	③
関	付
□	□

□

訓読みにして
考えてみよう。



使わない漢字
は二つあるよ。

二 □にあてはまる漢字を□の中から選び、反対の漢字の組み合わせの熟語を完成させましょう。
(5点×10問)

⑨	⑦	④	①
□	入	地	上
悪	□	□	□

⑩	⑧	⑤	②
□	多	売	新
近	□	□	□

先	遠	天	少
大	買	出	減
遅	旧	善	下

⑥	③
後	増
□	□



短歌は、五・七・五・七・七の三十一音からなります。小さな「つ」

一 教科書の「たのしみは」で学習したことを生かして、「よろこびは」で



